

困難を抱える女性への支援事業【岡山市】

総事業費	6,000 千円
交付金額	3,000 千円

地域の実情と課題

コロナ禍で孤独・孤立で不安を抱える女性の増加がマスコミ等で報じられているが、その実態は行政からは見えにくいのが実情である。このような問題に対応するため、様々な困難を抱える女性に対し、相談、居場所の提供などの支援を実施する。

事業の特徴

- ・困難を抱える女性の相談窓口として、電話、メール、SNSを活用した相談窓口を開設。
- ・家庭などに居場所のない女性が気軽に立ち寄れる居場所の提供。
- ・相談や居場所を利用する女性に、必要に応じた生理用品の提供。

事業の効果

様々な困難を抱える女性に対し、NPOの知見を活用した事業を実施した。相談業務では電話相談、メール相談、チャットを利用したSNS相談を行った。居場所づくりでは、若年女性向けとして高校での開催や、営業終了後の飲食店店舗を利用しての夜カフェなど、年代・職業等様々な属性の人が利用できた。参加者からは「話を聞いてくれる場所があることが嬉しかった」などの意見があり、不安な気持ちを和らげたり、必要な支援につなげるための場所として、一定の効果があったと考えている。

目的・目標

孤独・孤立で不安を抱える女性に対し、相談窓口、居場所の提供などを周知するとともに、行政だけでは手が届きにくい支援をNPOの知識やノウハウを活用しながら進め、必要に応じて適切な支援、相談機関等へつなぐなど、困りごとの解決に努める。

連携団体

委託先のNPO法人および関係行政機関や民間支援団体等

今後の課題

居場所を利用したり、SNSで相談はするが、自ら公的機関等に相談する事を躊躇する社会との絆・つながりが薄い女性に、民間団体の知見やノウハウを活かしながら寄り添うなかで、いかに必要な公的機関につなげていくかが今後の課題である。

事業の概要

困難を抱える女性への支援事業

【相談業務】

電話相談、メール相談にくわえて、若年女性が利用しやすいよう、SNS相談を活用した相談業務を実施した。

電話相談

平日 10:00～16:30

メール相談

随時

SNS業務

毎週金曜日 19:00～23:00



【居場所の提供】

様々な属性の女性が気軽に立ち寄れるよう、学校でのユースカフェ、夜遅い時間帯に開催する夜カフェなど複数の居場所を提供した。

ユースカフェ

市内高校で開催
(実施回数13回)

セルフグループ

NPO法人のスペース
を利用し開催(実施回数8回)



ユースカフェ

夜カフェ

市内飲食店で開催
(実施回数18回)

異文化カフェ

市内交流サロンで開催
(実施回数2回)



生理用品の提供



夜カフェ